

京都教育大学 教育資料館

まなびの森ミュージアム

今月の逸品

NO.42 2019.02~2019.03

京都市伏見区深草藤森町1

☎ : 075-644-8176

✉ : manabi@kyokyo-u.ac.jp



歴史科教授用参考掛図第八圖「明治天皇御即位式の図」

【表具】 998mm×938mm

【本紙】 828mm×590mm

慶応3年（1867）1月9日、睦仁が踐祚、皇位を継承した（明治天皇）。即位の儀は、大政奉還などによる延期を経て、明治元年（1868）8月27日に挙行された。このとき、明治政府は新時代の到来を宣布するにふさわしい新たな即位式の挙行を目指し、仏教や「唐制」にもとづく旧来の様式が廃止され、様々な改変がなされた。紫宸殿につくられた高御座（天皇の座）手前の階段の下に描かれる大地球儀も新たなアイテムの一つであり、従来の礼服にかわり束帯を着した天皇が大地球儀の日本のところに香を三度当てることになっていた。これは「皇威を四表に発揚せんこと」を意図した儀式であった（『明治天皇紀』第1、吉川弘文館、1968年。「四表」とは天下のこと）が、当日は雨天のため中止となった。本掛図の原図は現在、国立公文書館が所蔵している「明治天皇御即位図」で、儀式当日が晴天の場合の配置図である。

※附属図書館で展示しています。